

平成 30 年 8 月 27 日 作成

京都府 PTA 協議会

亀岡市 PTA 連絡協議会

第 66 回日本 PTA 全国研究大会 「新潟大会」に参加して

京都府 PTA 協議会 副会長・近 P 理事

亀岡市 PTA 連絡協議会 府 P 理事

亀岡市立安詳小学校 PTA 副会長

出藏 裕子

8月24日(金)・25日(土)開催の、第66回日本PTA全国研究大会新潟大会に京都府より21名、亀岡市からは上田市P会長(大井小学校PTA副会長)と私の2名で参加させていただきました。24日は県内10会場で分科会・25日は2会場を中継で結び全大会が行われました。

分科会では、朱鷺メッセで開催された特別第2分科会へ。文部科学省協力のもと地域学校協働推進のためにPTAが果たす役割～参加者全員の自由な意見交流で次の一手を考えよう～との研究課題のもと基調講演・パネルディスカッション・ワールドカフェ形式による参加者討論会の場が設けられました。現状においては、今後の地域における学校との協働体制の在り方として、地域による学校の「支援」から、地域と学校のパートナーシップに基づく双方向の「連携・協働」へと発展させていく「地域学校協働活動」の推進が強く求められてきています。その実現のためにPTAが果たす役割の重要性はますます高まっています。全国から集う会員が、そうした地域性を踏まえた活動を共有し、意見を交流し合うことで、PTAに求められている役割について深く理解し合えるものと考えられています。

討議の視点としては、

(1)地域と学校を結びつけるために PTA が果たす役割

(2)地域全体で子どもたちの成長を支える仕組みづくりに向けた

PTA の関わり方

(3)地域の一員としての PTA のあり方

について話し合いがされました。そこで大変感銘を受けましたことは、子どもたちは「きれいな花」であり、私たち PTA や地域学校は「豊かな土」である。とのお言葉です。

すべては子どもたちのために。私たちにできることは何でも前向きにさせていただこうとの思いに至れました。1000 人規模での分科会でしたが、北海道や新潟・群馬県の PTA のみなさんと意見交換ができてテーブルごとでの討議発表もあり、大変有意義な研修となりました。

全大会では、アオーレ長岡を本会場としハイブ長岡と中継を結んで開催され、8000 人規模の大会となりました。

記念講演には、新潟県三条市出身の高橋克実さんを講師に

「夢を追いかけて つかんだ 俳優人生」と題して

フリーアナウンサー松井弘恵さんとの対談形式による講演が行われました。高橋さんはテレビで見たままのおおらかな方で、気負わず、出会いの一つ一つを大切にされていました。印象に残りました。高橋さんのスタンスは「何をやるかではなく誰とやるか」に重きを置かれている点です。PTA という組織も一人一人が大切に仲間意識を持つことが楽しく頑張れる秘訣なのではないかなと思えました。

そしてフィナーレでは、会場全体をスクリーンとして長岡花火大会が **Jupiter** の曲に乗せて映し出され、参加者に大きな感動を与えてくれました。

来年の日本 PTA 全国と近畿ブロックの合同研究大会はいよいよ兵庫県で開催されます。バトンを託される兵庫県 PTA のみなさんは今回総勢 178 名で参加されていました。再来年の日本 PTA 近畿ブロック研究大会は京都府亀岡市で開催ですので身の引き締まる思いでいっぱいですが、今回全身で感じましたおもてなしの心と深い愛情で、私も皆さんと協働し、PTA 活動を精一杯頑張りたいと思いました。京都府 PTA 協議会小林事務局長はじめ多くの皆様のお支えのもと貴重な学びと出会いの場をいただきまして、誠にありがとうございました！！